

生駒氏は「情報やコンピュータ、通信工学などはまさに時代の主流。その先駆けを大学で学べて本当によかったな」と振り返る。このことを肌で実感している。このことを伝えたかった。生駒氏は「理系は、教育、研究だけでなく、学生も親しむべき。理系は、教育、研究だけでなく、学生も親しむべき。理系は、教育、研究だけでなく、学生も親しむべき。」

生駒京子氏 学生にオンライン特別講義

◆生駒京子(いごま きょうこ) 1956年(昭和31)京都市生まれ。大阪電気通信大学工学部卒業後、ソフトウェア会社勤務を経て退職。94年、起業したことから、座右の銘は「感謝」とのこと。1つの物事に打ち込むことに価値があると説く。

大阪電気通信大では9月、大阪・関西について「大阪・関西万博がめざすもの」と題して特別講義を行った。生駒氏は同大学を1981年度に卒業し、特別講義は同大学の客員教授に生駒氏が就任するにあたって企画された。あ

2025年日本国際博覧会(以下、大阪・関西万博)の開幕まで900日を切り、開催地となる大阪では機運醸成の取り組みが活発になってきた。大阪電気通信大(寝屋川市)では同万博の企画実施を行う公益社団法人2025年日本国際博覧会協会の副会長、生駒京子(いごま きょうこ)氏が特別講義を行った。大阪では、1970年に開催された日本万国博覧会(大阪万博)以来55年ぶりとなる大阪・関西万博に向けて、当時の記憶が残る世代だけではなく、まだ生まれていなかった世代にまで、未来社会を語るワクワクが広がっている。

大阪万博の興奮 現在、大阪万博の跡地は万博記念公園として整備され、太陽の塔が目立つのはほぼ広大な緑地帯となっており当時の建物はまばらに残るのみだ。かつては、故・黒川紀章氏が手がけた独創的なパビリオンがひしめくように立ち並ぶ。内部ではコシンツエノコ氏がデザインした制服に身を包んだコンパニオンガールが華やかに彩り、リニアモーターカー、電気自動車、温水洗浄便座、動く歩道、テレビ電話、電波時計など当時の最先端だった技術が展示された。

レガシーで発展 万博の際に展示などを通じてお披露目され、万博閉幕後も社会に残り続けるものはレガシーと呼ばれる。太陽の塔(大阪)やエッフェル塔(パリ)のほか、フランスのワインの格付け制度や国際的な特許制度なども万博をきっかけに生まれたとされる。大阪万博の際には最先端の技術や新進気鋭の芸術家が世界に羽ばたいた。1990年に開催された国際花と緑の博覧会(花博)ではハイビジョン技術が登場し日本のテレビの黄金期が幕開けしたとされる。2005年に愛知県で開催された日本国際博覧会(愛・地球博)の会場内では、日本地球博の会場内では、日本の技術を結集したロボットが掃除や警備、接客などに従事した。現在も日本は産業用ロボットの分野で世界をリードしている。

む傾向にあった。生駒氏は「万博を一過性のイベントにしてしまっても構わない。次につなげる仕掛けがある」と熱く語った。大阪・関西万博は、2025年4月から10月、大阪湾の人工島、夢洲に世界から約2820万人が来場する見通しだ。

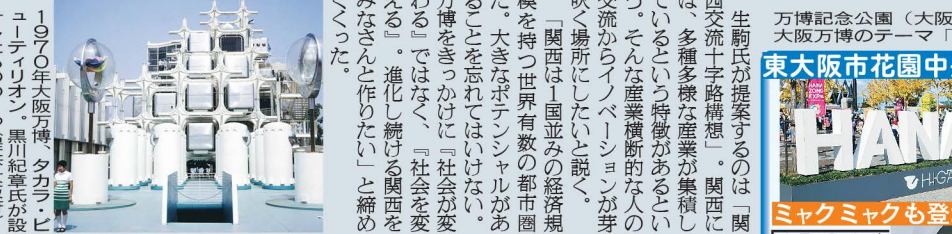
「万博を一過性のイベントにしてしまっても構わない」

生駒氏はさらに地域経済へのインパクトをレガシーとして望む。しかも万博後もそのインパクトが続くことこそ大事だという。過去に日本で開かれた万博では国内総生産(国内総生産)は伸びたものの閉幕後に落ち込

「進化し続ける関西をみなさんと作りたい」 生駒氏が提案するのは、関西交流十字路構想。関西には、多種多様な産業が集積しているという特徴があるという。そんな産業横断的な人の交流からイノベーションが芽吹く場所を作りたいと説く。「関西は1国並みの経済規模を持つ世界有数の都市圏だ。大きなポテンシャルがあることを忘れてはいけない。万博をきっかけに『社会が変わる』ではなく、『社会を築く』。進化し続ける関西をみなさんと作りたい」と締めくくった。

生駒氏が「万博を一過性のイベントにしてしまっても構わない。次につなげる仕掛けがある」と熱く語った。大阪・関西万博は、2025年4月から10月、大阪湾の人工島、夢洲に世界から約2820万人が来場する見通しだ。

夢ふくらむ学生たち 憧れの先輩が未来を語った約90分をともに過ごした学生たちは、特別講義後、それぞれの夢や目標を語った。 ◆電気電子工学科3年 木内大輝さん(21)は24歳のとき大阪・関西万博が開催される。「組み込み系のソフト開発の仕事がしたい。電気系の国家資格だけでなく、英語もがんばりたい。仮想現実(VR)を広める活動をした」と目標を語った。 ◆機械工学科2年 土橋由佳子さん(19)は大阪・関西万博開催時には22歳になっ



生駒氏は「情報やコンピュータ、通信工学などはまさに時代の主流。その先駆けを大学で学べて本当によかったな」と振り返る。このことを肌で実感している。このことを伝えたかった。生駒氏は「理系は、教育、研究だけでなく、学生も親しむべき。理系は、教育、研究だけでなく、学生も親しむべき。」